

設計条件

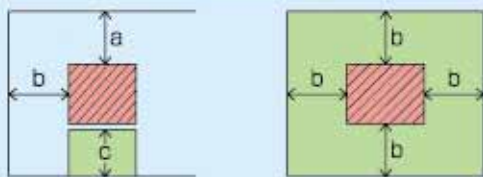
- 1. 静水圧** 満水時の静水圧の周壁のたわみは、タンクの高さ × 0.5% (2mH=10mm・3mH=15mm) 以下を基準にしています。但し一体型は1%以下です。
- 2. 風圧** 空の状態での最大風速 60m/s を受けた時に水槽本体据付部分が十分耐える様設計しております。
- 3. 地震** FRP 水槽耐震設計基準(案)に基づいています。水平震度 kh=2G・1.0G・1.5G の3水準を設定し、水槽本体及び水槽据付部が十分耐える様設計してあります。
- 4. 積雪** 積雪 100cm(積雪荷重 200kg/m² 以下)まで十分耐える様設計してあります。

給排水設備基準

- 1. 6面点検** 天井、四周囲、底に保守点検に必要な空間 45cm 以上を確保して下さい。
- 2. 通気口** ホコリ、虫等が侵入しない様にする。
- 3. タンク内** 内部の保守点検が容易に出来る構造でなければならない。
- 4. マンホール** 内径 45cm 以上なければならない。(コータ・タンク：マンホール径φ500・φ600) マンホールには錠を施し、部外者のタンク内への侵入を防ぐ。
- 5. 底面** 底面は完全排水としなければならない。

給排水設備技術基準

●六面点検 空間(a.b.c 0.45m)確保



●配管防震継ぎ手



材料の条件

材質	強度	引張り	曲げ	弾性率	圧縮	衝撃	比重
FRP		8~14(kg/mm ²)	14~25(kg/mm ²)	700~1200(kg/mm ²)	12~18(kg/mm ²)	70~130(kg/cm ²)	1.4~1.6
鉄 (SS41)		41	41	21,000	41	1,500	7.8
ステンレススチール		21~25	21~25	19,000	21.1	8.5~11	7.92
硬質塩ビ		6~6	6~10	140~400	7~8	4.5~5	1.3~1.4

